

自動車用複合材料の展望

-CFRP、CNFそしてマルチマテリアル-

1名分料金で
2人目無料

※この講座は職場や自宅のノートPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

- ◆日時:2021年5月27日(木) 13:30~16:30
 - ◆会場:あなたの職場や自宅のPCで受講可(WindowsPC推奨)
 - ◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき38,500円
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

《講師》	金沢工業大学 大学院 高信頼ものづくり専攻 教授 影山 裕史 氏
《受講対象》	製造業の企画、設計、材料設計部署の方、特に材料メーカーの研究・開発部署の方
《習得できる知識》	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自動車の姿(社会とのかかわり方、仕様) ・自動車構成材料の課題・CFRPの将来の位置づけ ・CNF複合材 ・自動車の緊急課題 ・LCA ・マルチマテリアルの意味
《講座の趣旨》	2050年ゼロエミッション化が宣言された。そのためには、まず、自動車を取り巻く環境の変化を理解し、将来の自動車の姿を予想し、その構成材料のあるべき姿と動向を見ることによる課題の整理が必要。CO2環境問題に対し軽量化は必須でありCFRPやALのような軽量材料が目玉される。ただ、2030年以降は、軽量化だけではなく、本格的なLCA対応が急務になる。そのためには、カーボンニュートラルのバイオマスプラスチックの出現が期待される。ただ、バイオマスプラスチックは強度的に低く、CNF等の強化が有効になると考えられる。更には、信頼性やコストなどの面から、金属も含めたマルチマテリアル化が極めて重要な位置づけとなることが予想される。ここでは、その動向と展望をまとめた。
《プログラム》	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車を取り巻く環境の変化と自動車(2030年) <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域社や循環型社会に適合したモビリティ 2) モビリティだけではなく、将来のビジネスモデルに挑戦 2. 自動車構成材料の動向 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鉄はいまだに主要材料 2) 軽量材料(AL, 樹脂、複合材料) CFRPに注目 3. 自動車構成材料の今後(～2030年) <ol style="list-style-type: none"> 1) 緊急課題と軽量化 CFRPの活用 4. 自動車構成材料の今後(2030年～) <ol style="list-style-type: none"> 1) 本格的LCA(CO2排出量低減)の追求 CNF複合材料に期待 2) マルチマテリアルの必要性 マルチマテリアルの追求 3) マルチマテリアルの課題

【質疑応答】

『自動車マルチマテリアル』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

株式会社R&D支援センター <https://www.rdsc.co.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階

TEL 03-5857-4811

FAX 03-5857-4812